

花火産業構想第Ⅱ期 アクションプラン

平成 3 1 年 3 月策定

令和 2 年 8 月更新

花火産業構想推進プロジェクト会議

花火産業構想第Ⅱ期アクションプランについて

- ◆ このアクションプランは、「花火産業構想第Ⅱ期」で掲げた目標を達成するために実施する具体的な事業の計画を示したものです。
- ◆ 各計画事業は1事業1ページで作成し、計画期間である5箇年（31～35年度）のスケジュール、概算事業費を記載しています。下段には、前年度事業実績、当年度事業計画の欄を設けており、この部分は毎年更新します。
- ◆ 年1回以上「花火産業構想推進プロジェクト会議」を開催し、事業評価とKPIの達成状況確認を行うこととします。その際の資料としても使用し、PDCAサイクルによる事業の検証、見直しに活用します。

《 目 次 》

◎ 各事業のアクションプラン・進捗状況	3	～	23	ページ
◎ 目標及びKPIと達成状況	24	～	25	ページ

事業NO.	花火伝統文化継承事業	事業主体 (◎: 主担当)	◎市花火伝統文化継承資料館、花火伝統文化継承プロジェクト
1-1		記載担当	大仙市花火伝統文化継承資料館
		花火に関する資料の収集・保存を行うとともに、花火伝統文化継承資料館「はなび・アム」を拠点として発信し、花火の文化的価値を高め、継承し、広く示す施策の推進を図る	

■アクションプラン（平成31年3月策定）

	令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度					
スケジュール	(1) 資料収集・整理		花火資料の収集と整理(デジタル化を含む)を継続して実施する							
	(2) 花火映像アーカイブ		全国花火競技大会で打ち上げられる全ての花火映像を高精細映像で記録・保存する							
	(3) 花火資料企画展示		7月 企画展示更新(委託) 1月 企画展示更新(職員) 7月 企画展示更新(委託) 1月 企画展示更新(職員) 7月 企画展示更新(委託) 1月 企画展示更新(職員) 7月 企画展示更新(委託) 1月 企画展示更新(職員) 7月 企画展示更新(委託) 1月 企画展示更新(職員)							
	(4) 常設展示更新 (はなびシアター映像制作)		(4) 常設展示更新 (はなびシアター映像制作)							
予算	資料収集・整理	833千円	資料収集・整理	833千円	資料収集・整理	833千円	資料収集・整理	833千円	資料収集・整理	833千円
	花火映像アーカイブ	1,322千円	花火映像アーカイブ	1,322千円	花火映像アーカイブ	1,322千円	花火映像アーカイブ	1,322千円	花火映像アーカイブ	1,322千円
	花火資料企画展示	2,036千円	花火資料企画展示	2,036千円	花火資料企画展示	2,036千円	花火資料企画展示	2,036千円	花火資料企画展示	2,036千円
			常設展示更新委託	10,000千円			常設展示更新委託	10,000千円		
	合計	4,191千円	合計	14,191千円	合計	4,191千円	合計	14,191千円	合計	4,191千円
財源	市一般財源	4,191千円	市一般財源	14,191千円	市一般財源	4,191千円	市一般財源	14,191千円	市一般財源	4,191千円

■前年度（令和元年度）事業実績

事業実績	評価	決算額	
<ul style="list-style-type: none"> 約1,000点の花火資料を収集し、約1,200点をデジタル化した。 花火映像アーカイブとして、全国花火競技大会の映像を撮影した。 3階花火資料室の一部展示替えを4回、全面展示替えを2回実施。 全国花火競技大会開催時期にあわせ、別館で特別企画展を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> 展示替えは予定通りの回数を実施することができ、来館者からも一定の評価を得ることができた。 全国花火競技大会の映像撮影は大曲商工会議所の協力もあり、大幅に撮影費用を縮減することができた。 	資料収集・整理	810千円
		花火映像アーカイブ	141千円
		花火資料企画展示委託 (市一般財源)	960千円

■当年度（令和2年度）事業計画

事業計画	予算額
<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染拡大の影響により多くの花火大会の中止・延期となっているため、花火大会のプログラムやポスター以外の花火関連資料を中心に、収集・整理(デジタル化を含む)する。 令和2年8月から半年間、3階花火資料室で企画展を開催するほか、別館において例年通り特別企画展を開催する。また、令和3年1月に3階花火資料室の企画展の入れ替えを行う。 	資料収集・整理 300千円 花火映像アーカイブ 163千円 花火資料企画展示委託 (市一般財源) 1,200千円

事業NO.	「花火のまち」中心市街地環境整備事業	事業主体 (◎:主担当)	◎(株)はなびタウン・リノベーション、(一社)大 仙市観光物産協会、市花火伝統文化継承資 料館、市観光課
1-2		記載担当	大仙市経済産業部観光課
		花火をモチーフとしたデザインによる案内看板・サインの整備、「はなび・アム」周辺での物 販・軽食スペースの設置により「花火のまち大仙市」を来街者に印象づけ、賑わいを創出する	

■アクションプラン（平成31年3月策定）

	令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
スケジュール	(1) 中心市街地の案内サイン・誘導サイン整備				
	(2) はなび・アム隣地等低未利用地・公共用地利活用				
	はなび・アム隣地舗装、駐車場等として活用		飲食・物販等のエリアとして整備し有効活用		
	中心市街地の未利用地・公共用地の利活用方策の検討				
予算	案内サイン・誘導サイン整備	9,236千円			
	合計	9,236千円	合計	合計	合計
財源	社会資本整備総合交付金	3,709千円			
	市一般財源	5,527千円			

■前年度(令和元年度)事業実績

事業実績	評価	決算額	
<ul style="list-style-type: none"> 観光客等のまち歩き促進のため、JR大曲駅、「はなび・アム」、「大曲の花火」公園を結ぶ動線上に案内サイン・誘導サインを計17基整備した。 「はなび・アム」隣地を駐車場として整備し、活用した。 	<ul style="list-style-type: none"> サイン整備により、中心市街地における観光資源が結びつけられ、観光客等のまちなか歩き促進による観光消費の増加が期待される。 「はなび・アム」隣地を駐車場として活用し、特に第93回全国花火競技大会において、会場に近い駐車場として利用者の好評を得た。 	案内サイン・誘導サイン整備 (社会資本整備総合交付金、市地域振興基金繰入金)	8,308千円

■当年度(令和2年度)事業計画

事業計画	予算額	
<ul style="list-style-type: none"> 「はなび・アム」隣地について、引き続き駐車場として活用する。 「はなび・アム」利用者の満足度向上と通年観光に向けた取組の強化のため、トレーラーハウスを使用した物販及び観光PRブースを「はなび・アム」隣地に設置する。ブースは(一社)大仙市観光物産協会が運営主体となり、令和2年度において試験運営を行う。 中心市街地の未利用地・公共用地の利活用方策については、引き続き現状を調査するとともに活用策を検討していく。 	物販及び観光PRブース試験設置 業務委託 (地方創生推進交付金、市地域振興基金繰入金)	367千円

事業NO. 1-3	花火イベント等情報発信事業	事業主体 (◎:主担当)	◎市広報広聴課、市観光課、大曲商工会議所、大仙市商工会、(一社)大仙市観光物産協会、(株)TMO大曲(FMはなび)	地方創生 推進交付金 活用事業
	インターネットやコミュニティFMを活用し、「大曲の花火」を中心とした花火イベント等の情報を国内・海外へ向けて発信する。各情報の内容は統一化する	記載担当	大仙市企画部広報広聴課	

■アクションプラン (平成31年3月策定)

	令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度					
スケジュール	(1)「FMはなび」花火情報番組放送 (2)「大曲の花火」ホームページ一元化									
予算	花火情報番組制作委託	880千円	花火情報番組制作委託 ホームページ制作委託	880千円 4,000千円	花火情報番組制作委託	880千円	花火情報番組制作委託	880千円	花火情報番組制作委託	880千円
	合計	880千円	合計	4,880千円	合計	880千円	合計	880千円	合計	880千円
財源	地方創生交付金	440千円	地方創生交付金	440千円	地方創生交付金	440千円	地方創生交付金	440千円	地方創生交付金	440千円
	市一般財源	440千円	市一般財源	4,440千円	市一般財源	440千円	市一般財源	440千円	市一般財源	440千円

■前年度(令和元年度)事業実績

事業実績	評価	決算額
<ul style="list-style-type: none"> 「FMはなび」で花火大会や鑑賞方法に関する花火情報番組を毎週月曜・木曜に放送したほか、大会時に特別番組を生放送した。 HP一元化については、費用負担や役割分担等に課題があり、検討会議の立ち上げ及び仕様検討に及ばなかった。 HPアクセス促進のため、SNSを活用した情報発信を本格化した。 	<ul style="list-style-type: none"> 花火情報番組はスマートフォンアプリ等により市外においても聴取可能であり、継続的な情報発信により、広範なPR効果を得ている。 SNSと連動した情報発信により大曲商工会議所、(一社)大仙市観光物産協会、市がそれぞれ運営している各ホームページのアクセス数の合計が約2倍に増加した。 	花火情報番組制作委託 <四季の花火+神岡南外花火大会での生放送> (地方創生推進交付金、市地域振興基金繰入金) 880千円

■当年度(令和2年度)事業計画

事業計画	予算額
<ul style="list-style-type: none"> 「FMはなび」で花火大会や鑑賞方法に関する情報番組「花火の星」を放送する(毎週月曜26:00~26:30、毎週木曜21:00~22:00 ※月曜放送は全国ネット放送)。また、新型コロナウイルス感染拡大の影響により多くの花火大会の中止・延期となる中、各種団体等により行われている花火支援プロジェクトやサプライズ花火などの取組を紹介する特別番組(1回30分・全16回)を制作し、発信する。 HP一元化については、大曲商工会議所・大仙市商工会・大仙市観光物産協会・市の実務担当者レベルにおいて、課題洗い出し等を引き続き行っていかば、現行のHPで過去の大会の写真や映像などを掲載し、SNSと連動しながら情報発信していく。 	花火情報番組制作委託 <花火支援プロジェクト・サプライズ花火紹介番組> (地方創生推進交付金、市地域振興基金繰入金) 880千円

事業NO.	花火師育成・確保支援事業	事業主体 (◎: 主担当)	◎市観光課、 大曲の花火協同組合	地方創生 推進交付金 活用事業
2-1		記載担当	大仙市経済産業部観光課	
		足利大学教授(煙火学専修)を招聘し、火薬類製造保安責任者(乙種)ほか資格取得支援講座、市内高校向け特別講座、花火師向けスキルアップ講座を実施する		

■アクションプラン(平成31年3月策定)

スケジュール	令和元年度			2年度			3年度			4年度			5年度			
	8月	9月	3月	8月	9月	3月	8月	9月	3月	8月	9月	3月	8月	9月	3月	
	資格取得支援講座の実施			資格取得支援講座の実施			資格取得支援講座の実施			資格取得支援講座の実施			資格取得支援講座の実施			
	花火師向けスキルアップ講座の実施			花火師向けスキルアップ講座の実施			花火師向けスキルアップ講座の実施			花火師向けスキルアップ講座の実施			花火師向けスキルアップ講座の実施			
	市内高校向け特別講座の実施			市内高校向け特別講座の実施			市内高校向け特別講座の実施			市内高校向け特別講座の実施			市内高校向け特別講座の実施			
	講座受講者と市内花火会社による合同面接会実施の検討															
予算	講師謝金	480千円	講師謝金	480千円	講師謝金	480千円	講師謝金	480千円	講師謝金	480千円	講師謝金	480千円	講師謝金	480千円	講師謝金	480千円
	消耗品費	116千円	消耗品費	116千円	消耗品費	116千円	消耗品費	116千円	消耗品費	116千円	消耗品費	116千円	消耗品費	116千円	消耗品費	116千円
	合計	596千円	合計	596千円	合計	596千円	合計	596千円	合計	596千円	合計	596千円	合計	596千円	合計	596千円
財源	地方創生交付金	298千円	地方創生交付金	298千円	地方創生交付金	298千円	地方創生交付金	298千円	地方創生交付金	298千円	地方創生交付金	298千円	地方創生交付金	298千円	地方創生交付金	298千円
	市一般財源	298千円	市一般財源	298千円	市一般財源	298千円	市一般財源	298千円	市一般財源	298千円	市一般財源	298千円	市一般財源	298千円	市一般財源	298千円

■前年度(令和元年度)事業実績

事業実績	評価	決算額	
<ul style="list-style-type: none"> 市内高校向け特別講座について、9月12日・13日に大仙市及び美郷町の3校で実施した。 資格取得支援講座については、日程都合により未開催となった。 花火師向け講座は新型コロナウイルスの影響により中止となった。 	<ul style="list-style-type: none"> 市内高校向け特別講座では、受講後のアンケートにより「花火についてより詳しく知りたくなった」、「この講座のことを思い出しながら大曲の花火を見たい」等の肯定的な感想が多く、花火への関心を高めてもらう機会となった。 	講師謝金	109千円
		消耗品費	108千円
		(地方創生交付金、市地域振興基金繰入金)	

■当年度(令和2年度)事業計画

事業計画	予算額	
<ul style="list-style-type: none"> 資格取得支援講座については、火薬類製造保安責任者(乙種・丙種)及び火薬類取扱保安責任者(甲種・乙種)の資格取得を目指した内容とし、(公社)日本煙火協会に講師派遣を依頼し、開催する。 市内高校向け特別講座については、市内及び美郷町の高校を対象とし、高校と実施可否について協議した上、講座を開催する。 花火師向けスキルアップ講座については、市内花火会社を対象に、煙火製造技術向上を目的とした講座を開催する。 	講師謝金	430千円
	消耗品費	100千円
	(地方創生交付金、市地域振興基金繰入金)	

事業NO. 2-2	「花火のしごと」魅力発信事業	事業主体 (◎: 主担当)	◎市まちづくり課、大曲商工会議所
	花火イベントや花火製造など花火に携わる仕事の魅力を無料職業紹介所、首都圏移住相談会等で発信し、若年層の地元定着、移住・定住、Aターンの促進を図る	記載担当	大仙市企画部まちづくり課

■アクションプラン（平成31年3月策定）

	令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	
スケジュール						
	移住相談会参加費	443千円	移住相談会参加費	443千円	移住相談会参加費	443千円
	無料職業紹介所開設	4,052千円	無料職業紹介所開設	4,052千円	無料職業紹介所開設	4,052千円
	合計	4,495千円	合計	4,495千円	合計	4,495千円
財源	市一般財源	4,495千円	市一般財源	4,495千円	市一般財源	4,495千円

■前年度（令和元年度）事業実績

事業実績	評価	決算額	
<ul style="list-style-type: none"> 首都圏移住相談会に2回参加し、延べ36人に市の魅力PRと移住支援制度紹介を行った。県主催の移住相談会には、市・㈱花火創造企業が参加し、花火に携わる仕事を紹介した。 大仙市移住促進無料職業紹介所に18人が求職登録し、13企業が求人登録した。その内、7件のマッチングを行うことができた(うち花火会社とのマッチングはなし)。 	<ul style="list-style-type: none"> 移住相談会、無料職業紹介事業等において、「花火のしごと」の魅力PRや市内花火会社の求人情報の紹介を行っており、関心をもつ求職者は徐々に増加している。 	移住相談会参加費 無料職業紹介所開設 (市一般財源)	289千円 3,964千円

■当年度（令和2年度）事業計画

事業計画	予算額	
<ul style="list-style-type: none"> 県や(公社)秋田県ふるさと定住機構が主催する首都圏移住相談会への参加(年2回程度)や市が実施する無料職業紹介事業等において、花火に携わる仕事の魅力のPR、市内花火会社の求人情報の紹介を行う計画としているが、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、首都圏で行われる移住相談会等のイベント開催の見通しが立たない状況となっている。このことから、オンラインによる移住相談を行える体制整備を行う。 若年層の地元定着へ向けた職業体験やインターンシップの実施については市内花火会社と検討の上、実施していく。 	移住相談会参加費 無料職業紹介所開設 (市一般財源)	262千円 4,290千円

事業NO.	「メイドイン大仙」花火原料開発事業	事業主体 (◎:主担当)	◎市観光課、 大曲の花火協同組合、 (一社)大仙市観光物産協会	地方創生 推進交付金 活用事業
2-3		記載担当	大仙市経済産業部観光課	
		秋田県立大学と連携し、花火に最適なマツ炭の製造条件・粉碎条件のほか、市内産農林生産物の花火製造への活用を研究する		

■アクションプラン（平成31年3月策定）

	令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度					
スケジュール	(1)マツ炭生産に関する研究									
	品質高位安定と収量増加に向けた製造方法の研究									
	工業分析値と花火の現象の相関関係に関する研究									
スケジュール	(2)農林生産物活用に関する研究									
	新たな農林生産物の活用に関する研究									
予算	研究開発委託費	2,000千円	研究開発委託費	2,000千円	研究開発委託費	2,000千円	研究開発委託費	2,000千円	研究開発委託費	2,000千円
	合計	2,000千円	合計	2,000千円	合計	2,000千円	合計	2,000千円	合計	2,000千円
財源	地方創生交付金	1,000千円	地方創生交付金	1,000千円	地方創生交付金	1,000千円	地方創生交付金	1,000千円	地方創生交付金	1,000千円
	市一般財源	1,000千円	市一般財源	1,000千円	市一般財源	1,000千円	市一般財源	1,000千円	市一般財源	1,000千円

■前年度（令和元年度）事業実績

事業実績	評価	決算額	
<ul style="list-style-type: none"> 秋田県立大学、大曲の花火協同組合、(一社)大仙市観光物産協会の共同研究を実施した。製造条件の見直しによるコスト削減、品質管理のための工業分析マニュアル整備、試作花火の評価を行った。 炭の副産物として生産される木酢液の成分分析を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 工業分析マニュアルの整備により、(株)花火創造企業での粉炭調製及び外部販売に向けた品質管理体制を整えることができた。 木酢液は木竹酢液認証協議会の基準を満たすものであることを確認できた。 	研究開発委託費 (地方創生推進交付金、市地域振興基金繰入金)	1,991千円

■当年度（令和2年度）事業計画

事業計画	予算額
<ul style="list-style-type: none"> 「メイドイン大仙」のマツ炭は燃焼性能が安定しない海外産のマツ炭に代わる原料を目指しているため、品質確保による高付加価値化の取組をや生産効率化による収量増加に向けた取組を継続していく。 これまでの研究成果を踏まえ、工業分析値のデータ蓄積及び分析を進めることにより花火の現象との相関関係の知見を深めていく。 ※R2より花火の国際展開を核とする新規計画により地方創生交付金を活用することとしたため、研究開発についてはR1で終了する。 	(計上なし)

事業NO.	花火学習プログラム展開事業	事業主体 (◎: 主担当)	◎NPO法人大曲花火俱樂部、市観光課
2-4		「花火鑑賞士」資格制度の普及や花火鑑賞をテーマとしたセミナー等を開催することにより、花火を学び親しむ機会を提供し、花火ファン層の拡大を図る	記載担当 大仙市経済産業部観光課

■アクションプラン（平成31年3月策定）

	令和元年度		2年度		3年度		4年度		5年度			
スケジュール	(1)花火鑑賞士関連事業											
	5月 フォローアップ セミナー実施		10月 資格認定 試験実施		5月 フォローアップ セミナー実施		10月 資格認定 試験実施		5月 フォローアップ セミナー実施		10月 資格認定 試験実施	
	(2)花火セミナー開催											
	大曲の花火「四季の花火」に合わせたセミナーの開催											
	講師派遣による出張セミナーの開催											
予算	花火鑑賞士関連事業	1,600千円	花火鑑賞士関連事業	1,600千円	花火鑑賞士関連事業	1,600千円	花火鑑賞士関連事業	1,600千円	花火鑑賞士関連事業	1,600千円	花火鑑賞士関連事業	1,600千円
	花火セミナー開催	100千円	花火セミナー開催	100千円	花火セミナー開催	100千円	花火セミナー開催	100千円	花火セミナー開催	100千円	花火セミナー開催	100千円
	合計	1,700千円	合計	1,700千円	合計	1,700千円	合計	1,700千円	合計	1,700千円	合計	1,700千円
財源	大曲花火俱樂部自己資金	1,700千円	大曲花火俱樂部自己資金	1,700千円	大曲花火俱樂部自己資金	1,700千円	大曲花火俱樂部自己資金	1,700千円	大曲花火俱樂部自己資金	1,700千円	大曲花火俱樂部自己資金	1,700千円

■前年度（令和元年度）事業実績

事業実績	評価	決算額	
<ul style="list-style-type: none"> フォローアップセミナー及び花火鑑賞士認定試験を実施した。 「花火鑑賞士による花火セミナー」を第93回全国花火競技大会、大曲の花火「秋の章」にあわせて開催した 市観光物産PRイベントに講師を派遣し出張セミナーを行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 全国花火競技大会開催時における「花火鑑賞士による花火セミナー」の開催場所について、従来の「のびのびらんど」、大曲技術専門校の2か所に加えて「はなび・アム」を加えた3か所で開催し、より多くの受講者に花火セミナーの機会を提供することができた。 	花火鑑賞士関連事業 (大曲花火俱樂部自己資金)	1,167千円

■当年度（令和2年度）事業計画

事業計画	予算額	
<ul style="list-style-type: none"> 花火の歴史や種類、製造法などをテーマとした独自の資格試験である花火鑑賞士認定試験を適時に実施し、花火を学び親しむ機会を提供することで、リピーターとなる花火ファンの裾野を広げていく。(資格取得者を対象としたフォローアップセミナーについては5月開催を計画していたが新型コロナウイルス感染拡大により中止) 花火鑑賞士資格取得者有志により組織されている日本花火鑑賞士会の協力を得て、適時に花火セミナーを開催する。 	花火鑑賞士関連事業 (大曲花火俱樂部自己資金)	1,600千円

事業NO.	高品質汎用花火玉製造販売事業	事業主体 (◎: 主担当)	◎(株)花火創造企業
3-1		国内屈指の花火製造技術を活用し、輸入が大きな割合を占める5号以下の小型花火玉を製造し国内花火会社へ販売する	記載担当 株式会社花火創造企業

■アクションプラン（平成31年3月策定）

	令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
スケジュール	汎用花火玉(2.5号～5号)の製造・販売 3～4月 卸問屋主催の 試射会での営業活動	3～4月 卸問屋主催の 試射会での営業活動	3～4月 卸問屋主催の 試射会での営業活動	3～4月 卸問屋主催の 試射会での営業活動 「冠菊」に加え、 汎用性の高い「牡丹」「菊」「錦菊」 を製造品目に追加	3～4月 卸問屋主催の 試射会での営業活動
	主に「冠菊」の製造				
予算	(事業化しているため予算 計上なし)				
	合計	合計	合計	合計	合計
財源					

■前年度(令和元年度)事業実績

事業実績	評価	決算額
<ul style="list-style-type: none"> 令和元年度は、花火玉37,251発を製造、30,389発を販売した。 「冠菊」に加えて「牡丹」の製造に着手し、自社カタログに掲載した。 令和2年3月に予定されていた卸問屋主催の試射会(愛知県)は新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止となった。 	<ul style="list-style-type: none"> 全国展開の花火企画「芸術花火シリーズ」より年間を通じて発注があったことなどにより、前年度比較で約30%増の販売実績となった。 試射会中止により、全国の花火業者に対し自社の花火玉をPRする機会を得られなかった。 	(事業化しているため計上なし)

■当年度(令和2年度)事業計画

事業計画	予算額
<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染拡大の影響により、国内の多数の花火イベントが中止・延期となっており、花火玉の販売の見通しが立たない状況である。また、火薬庫に保管できる花火玉数量が法令により制限され製造ができなため、一定期間の休業を余儀なくされている。 卸問屋主催の試射会について開催の見通しが立っていないため、自社で試射した花火を動画撮影し、自社WEBサイトやSNSを活用してプロモーションをするなど、実施可能な営業活動を行っていく。 	(事業化しているため計上なし)

事業NO.	県内産花火用マツ炭販売普及事業	事業主体 (◎:主担当)	◎(株)花火創造企業、 (一社)大仙市観光物産協会	地方創生 推進交付金 活用事業
3-2		記載担当	大仙市経済産業部観光課	
高品質で安定した県内産花火用マツ炭の製造・粉碎・販売を行い、花火玉の品質向上、山林所得の向上、森林保全を図る				

■アクションプラン（平成31年3月策定）

	令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度					
スケジュール	(1)花火用マツ炭製炭事業 【(一社)大仙市観光物産協会】	花火用マツ炭の原料調達及び製炭			→					
	(2)花火用マツ炭粉碎・販売事業 【(株)花火創造企業】	花火用マツ炭の粉碎及び販売			→					
予算	製炭事業に対する市補助金 (観光物産協会へ)	1,000千円	製炭事業に対する市補助金 (観光物産協会へ)	1,000千円	製炭事業に対する市補助金 (観光物産協会へ)	1,000千円	製炭事業に対する市補助金 (観光物産協会へ)	1,000千円	製炭事業に対する市補助金 (観光物産協会へ)	1,000千円
	合計	1,000千円	合計	1,000千円	合計	1,000千円	合計	1,000千円	合計	1,000千円
財源	地方創生交付金	500千円	地方創生交付金	500千円	地方創生交付金	500千円	地方創生交付金	500千円	地方創生交付金	500千円
	市一般財源	500千円	市一般財源	500千円	市一般財源	500千円	市一般財源	500千円	市一般財源	500千円

■前年度(令和元年度)事業実績

事業実績	評価	決算額	
<ul style="list-style-type: none"> 令和元年度分として、(一社)観光物産協会が6,238kgの製炭を行い、(株)花火創造企業が4,275kgの粉碎を実施した。 (株)花火創造企業が令和2年2月に国内花火会社100社にマツ炭サンプル1,560kgを送付し、販売促進活動を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> (一社)観光物産協会は、森林組合との交渉により原材料の仕入れ価格を前年より押さえるなど、コスト削減の取組が進捗している。 粉碎機械のトラブルにより、粉碎作業が遅延したため、受注機会は限定的なものとなったが、販売促進活動に一定の成果を得た。 	製炭事業に対する市補助金 販売促進活動に対する市補助金 (地方創生推進交付金、市地域振興基金繰入金)	1,000千円 365千円

■当年度(令和2年度)事業計画

事業計画	予算額
<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度は、マツ炭の生産及び販売を当初10,000kgを目標に行う計画としていたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、花火の原材料の需要が大幅に減少している状況となっている。需要の回復を待ち、生産及び販売活動を再開していく。 ※地方創生推進交付金(H29～R1、テーマ『大曲の花火』ブランドによる農林資源活用新事業プロジェクト～花火産業振興と森林再生～)を活用した製炭事業に関する補助金の交付はR1で終了。R2からは、新規計画により地方創生交付金を活用していく。 	(事業化しているため計上なし)

事業NO.	無線点火システムによる花火演出高度化事業	事業主体 (◎:主担当)	◎(株)花火創造企業
3-3		記載担当	株式会社花火創造企業
県内企業との連携により安全性・機能性・操作性に優れる国産の無線点火システムを開発・販売し、国内花火の演出力向上を図る			

■アクションプラン（平成31年3月策定）

	令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
スケジュール	3月末 試作版 完成 12月 イベント総合 EXPO出展 2月 レジャー ジャパン出展 3月末 製品版 完成 点火システム開発		国際花火シンポジウム出展		国際花火シンポジウム出展
点火システム販売 アフターサービス(メンテナンス等)実施					
予算	開発委託費 19,000千円 展示会等出展費 5,000千円 合計 24,000千円	展示会等出展費 2,000千円 合計 2,000千円	展示会等出展費 5,000千円 合計 5,000千円	展示会等出展費 2,000千円 合計 2,000千円	展示会等出展費 5,000千円 合計 5,000千円
財源	経済産業省補助金 12,000千円 (株)花火創造企業自己資金 12,000千円	(株)花火創造企業自己資金 2,000千円	(株)花火創造企業自己資金 5,000千円	(株)花火創造企業自己資金 2,000千円	(株)花火創造企業自己資金 5,000千円

■前年度(令和元年度)事業実績

事業実績	評価	決算額	
<ul style="list-style-type: none"> 経済産業省の新連携支援事業を活用し、無線点火システムの開発を行い、試作機4台の製作を完了した。 令和2年2月に開催された第7回イベント総合EXPOに試作機の出展を行い、全国の煙火業者21社と商談を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> イベント総合EXPO出展時に、無線点火システムの早期販売を要望する声があったが、システムの操作性や信頼性に関する意見・要望についても多く寄せられたため、開発を継続することとしており、製品版の製作については見送っている状況。 	総事業費	24,099千円

■当年度(令和2年度)事業計画

事業計画	予算額
<ul style="list-style-type: none"> 当初、令和2年からの製品版販売を予定していたが、全国の煙火業者からの意見・要望を取り入れ、より操作性・信頼性を高めたシステムとするため、販売開始予定を令和4年度とし、令和2年度は自社開発により現行試作機の改良と各種試験を行う。 目標とする有線無線ハイブリッド型国産点火システムの開発にあたっては、秋田県産業技術センター、(独法)中小企業基盤整備機構東北本部、大曲商工会議所等からの技術支援を受けつつ事業を進めていく。 	(自社開発により事業を進めるため計上なし。進捗状況により国県等の支援制度活用を検討していく)

事業NO.	花火イベント企画運営サポート事業	事業主体 (◎:主担当)	◎(株)花火創造企業
3-4		記載担当	株式会社花火創造企業
無線点火システムによる高度な演出力、「大曲の花火」運営ノウハウを活用し全国の主催者を対象として花火イベントをワンストップで請け負うサービスを提供する			

■アクションプラン（平成31年3月策定）

	令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
スケジュール	12月 イベント総合 EXPO出展	2月 レジャー ジャパン出展	「花火イベント企画運営サポート」の営業・販売 ・全国規模のイベント関連展示会への出展 ・セールスプロモーションツール(カタログ・チラシ等)の制作 ・四季の「大曲の花火」での花火企画の実演・デモ打ち上げ		
	花火演出企画を担う社員の育成・社内実施体制の整備				
予算	(展示会等出展費は事業NO.3-3で計上)				
	合計	合計	合計	合計	合計
財源					

■前年度（令和元年度）事業実績

事業実績	評価	決算額
<ul style="list-style-type: none"> 四季の「大曲の花火」を通じて、会場設営や運営に関する企画演出サポート全般を実施。 大曲の花火-秋の章-のフィナーレ花火「竹取物語」においてシナリオ作成を含む演出企画を担当した。 令和2年2月に開催された第7回イベント総合EXPOにおいて、イベント企画運営サポート事業のPRを実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> シナリオ作成や花火演出の企画調整等について、花火番組制作に関する一連の実績を得ることができた。 イベント総合EXPOでは、大手旅行会社やアミューズメントパーク担当者と商談を行い、本格的な営業活動へのきっかけを作ることができた。 	(展示会等出展費は事業NO.3-3で計上)

■当年度（令和2年度）事業計画

事業計画	予算額
<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染拡大を受け、国内の多くの花火大会・花火イベントが中止・延期となっている。当面は大規模イベント向けの営業活動ができないことから、営業体系及びメニューの再検討を行い、新しい生活様式にあわせた提案内容を企画していく。 	(計上なし)

事業NO.	花火製造工程の自動化・省力化	事業主体 (◎:主担当)	◎市内花火会社5社
3-5		記載担当	大曲の花火協同組合事務局
手作業が大部分を占める花火製造工程について、公設研究機関等の助言を受けながら市内各花火会社が自動化・省力化に取り組み、収益率を向上させる			

■アクションプラン（平成31年3月策定）

	令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
スケジュール	(1) 燐花火創造企業の取り組み				
	「配合」工程の機械化の検討・実施	→			
	「造粒」「玉込め」工程の機械化の検討	→			
	(2) 市内各花火会社の取り組み				
	「玉貼り」及びその他の工程の機械化の検討・実施	→			
予算					
	合計	合計	合計	合計	合計
財源					

■前年度（令和元年度）事業実績

事業実績	評価	決算額
<ul style="list-style-type: none"> 県内外の工作機械メーカー数社に工場の視察を依頼し、工程ごとに機械化の可能性について検討をした。 響屋大曲煙火(株)が玉貼り機械を3台導入した。(燐花火創造企業と燐北日本花火興業は過年度において玉貼り機械を導入済) 	<ul style="list-style-type: none"> 機械メーカーによる検討の結果、火薬の配合作業における攪拌について、機械化できる可能性が高く、安全面・作業性を含め今後さらなる調査を行う必要がある。 	(計上なし)

■当年度（令和2年度）事業計画

事業計画	予算額
<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染拡大の影響により、令和2年度において新たな機械設備の開発に費用を投じることは難しいが、現在優先的に進めている「配合作業」を始め、「造粒作業」「玉込め作業」の機械化の実現に向け、現状の分析や課題の抽出を行っていく。 	(計上なし)

事業NO.	国際花火観光都市交流推進事業	事業主体 (◎:主担当)	◎市観光課
4-1		記載担当	大仙市経済産業部観光課
花火イベントで観光振興に取り組む世界の都市との交流により、大会運営や製造技術のノウハウを学ぶ。「大曲の花火」を世界に発信し、観光消費と交流人口の拡大を図る			

■アクションプラン（平成31年3月策定）

	令和元年度	2年度		3年度		4年度		5年度		
スケジュール	5月「春の章」開催 フランスの花火打上 ★	5月「春の章」開催 海外の花火打上 ★	(時期未定)交流先で 「大曲の花火」打上 ★	5月「春の章」開催 海外の花火打上 ★	(時期未定)交流先で 「大曲の花火」打上 ★	5月「国際花火競技大会」開催 ★	5月「春の章」開催 海外の花火打上 ★	(時期未定)交流先で 「大曲の花火」打上 ★		
	交流先検討・決定・連絡調整(1箇国目)		交流先検討・決定・連絡調整(2箇国目)		交流先検討・決定・連絡調整(3箇国目)					
	国際花火シンポでの情報収集	2,277千円	海外での花火打上費	20,000千円	海外での花火打上費	20,000千円			海外での花火打上費	20,000千円
	合計	2,277千円	合計	20,000千円	合計	20,000千円	合計	0千円	合計	20,000千円
予算	市一般財源	1,279千円	市一般財源	20,000千円	市一般財源	20,000千円			市一般財源	20,000千円
	大曲商工会議所自己資金	998千円								
財源										

■前年度(令和元年度)事業実績

事業実績	評価	決算額	
<ul style="list-style-type: none"> 第17回国際花火シンポジウム(5月・メキシコ)に大曲商工会議所・大仙市が出席し、開催国引継ぎと第16回大会の報告を行った。 第17回大会参加中に、国際花火シンポジウム協会を通じ、第18回大会開催予定地であるマルタからの出席者と情報交換を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> マルタ共和国では、毎年春に国際花火競技大会が開催されており、第18回国際花火シンポジウムの開催予定地となっている。マルタ共和国では、花火が伝統文化として根付いていることから、交流先の候補のひとつとして有力である。 	国際花火シンポでの情報収集 (市一般財源、市地域振興基金繰入金、大曲商工会議所自己資金)	3,271千円

■当年度(令和2年度)事業計画

事業計画	予算額
<ul style="list-style-type: none"> 令和2年10月にマルタ共和国で開催予定であった第18回国際花火シンポジウムに大曲商工会議所・大仙市で出席し、情報交換を行うこととしていたが、新型コロナウイルス感染拡大により、第18回大会は令和3年に開催が延期された。国際交流事業に関する展望が非常に厳しいものとなっている現状を踏まえ、新型コロナウイルスを巡る今後の状況を見極めながら、事業の進め方を検討していく。 	(計上なし)

事業NO.	国際花火競技大会開催事業	事業主体 (◎:主担当)	◎「大曲の花火」実行委員会(大曲商工会議所、大仙市)
4-2		記載担当	大曲商工会議所花火振興事業部
		海外で活躍する花火業者、交流のある都市の花火業者が出場する競技大会を開催し、国内花火業者のレベルアップとインバウンド誘客を図る	

■アクションプラン (平成31年3月策定)

	令和元年度	2年度		3年度		4年度		5年度	
スケジュール		4月「国際花火競技大会準備室」設置				5月「国際花火競技大会」開催			
		開催準備		→		決算事務			
		※準備室を設置し、海外業者の選定、依頼、輸送の段取り等を行う				※「大曲の花火ー春の章ー」の時期に合わせて2日間開催する ※観覧収入として@3千円×15,000席×2日間=90,000千円を見込む			
予算		準備室設置経費	2,000千円	準備室設置経費	2,000千円	日本業者出品代(6社)	30,000千円		
				海外業者出品代(4社)	20,000千円	その他玉代 <small>(オープニング・フィナーレ等)</small>	24,000千円		
						会場設営費	20,000千円		
						事務経費	24,000千円		
	合計	合計	2,000千円	合計	22,000千円	合計	98,000千円	合計	
財源		市一般財源	2,000千円	市一般財源	2,000千円	市一般財源	28,000千円		
				自主財源(観覧・協賛収入)	20,000千円	自主財源(観覧・協賛収入)	70,000千円		

■前年度 (令和元年度) 事業実績

事業実績	評価	決算額
(事業実績なし)		(計上なし)

■当年度 (令和2年度) 事業計画

事業計画	予算額
<ul style="list-style-type: none"> 令和2年4月にマルタ国際花火大会を視察し、出場花火業者の選定、審査方法、開催経費の算出などについて情報収集する予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大により視察を中止した。また、令和2年10月にマルタ共和国で開催される第18回国際花火シンポジウムに参加し、ブース出展等により国際花火競技大会をPRする計画としていたが、令和3年度にシンポジウム開催が延期されている状況。 令和2年4月に準備室を設置したが、世界的に新型コロナウイルスの感染拡大が進行しており、競技大会開催の目的が立たないため、5月末で停止した。国際花火競技大会の開催時期については、新型コロナウイルス感染症を巡る今後の状況を見極めながら検討していく。 	準備室設置経費 (会議所自主財源) 5,000千円

事業NO. 4-3	四季の「大曲の花火」開催・販売促進事業	事業主体 (◎: 主担当)	◎「大曲の花火」実行委員会(大曲商工会議所、大仙市)
	四季に合わせて「大曲の花火」を開催することで、ブランド力を最大限に活かし通年での誘客を図る。ふるさと納税返礼品としての活用、団体ツアー誘致等により観覧席販売を促進する	記載担当	大曲商工会議所花火振興事業部

■アクションプラン(平成31年3月策定)

令和元年度		2年度		3年度		4年度		5年度		
スケジュール	(1)四季の「大曲の花火」開催	※「大曲の花火-春の章-」として「国際花火競技大会」を開催								
	(2)プライベート花火(6~9月の土日)打ち上げ実施、ネット配信									
	(3)入場者システムの導入・運営									
予算	全国花火競技大会開催経費	700,000千円	全国花火競技大会開催経費	700,000千円	全国花火競技大会開催経費	700,000千円	全国花火競技大会開催経費	700,000千円	全国花火競技大会開催経費	700,000千円
	春の章開催経費	50,000千円	春の章開催経費	55,000千円	春の章開催経費	60,000千円	春の章開催経費 ※「国際花火競技大会」として計上		春の章開催経費	70,000千円
	秋の章開催経費	47,000千円	秋の章開催経費	52,000千円	秋の章開催経費	57,000千円	秋の章開催経費	62,000千円	秋の章開催経費	67,000千円
	冬の章開催経費	17,000千円	冬の章開催経費	19,000千円	冬の章開催経費	21,000千円	冬の章開催経費	23,000千円	冬の章開催経費	25,000千円
	プライベート花火・ネット配信	20,000千円	プライベート花火・ネット配信	20,000千円	プライベート花火・ネット配信	20,000千円	プライベート花火・ネット配信	20,000千円	プライベート花火・ネット配信	20,000千円
	入場者システム導入・運営	66,000千円	入場者システム導入・運営	54,000千円	入場者システム導入・運営	42,000千円	入場者システム導入・運営	30,000千円	入場者システム導入・運営	18,000千円
	合計	900,000千円	合計	900,000千円	合計	900,000千円	合計	835,000千円	合計	900,000千円
財源	市一般財源	20,000千円	市一般財源	20,000千円	市一般財源	20,000千円	市一般財源	20,000千円	市一般財源	20,000千円
	自主財源(観覧・協賛収入)	880,000千円	自主財源(観覧・協賛収入)	880,000千円	自主財源(観覧・協賛収入)	880,000千円	自主財源(観覧・協賛収入)	815,000千円	自主財源(観覧・協賛収入)	880,000千円

■前年度(令和元年度)事業実績

事業実績	評価	決算額	
<ul style="list-style-type: none"> 全国花火競技大会、大曲の花火-春の章-は予定通り開催した。 一秋の章-は台風の影響により1週間延期により開催した。 一冬の章-は新型コロナウイルスの影響により中止となった。 プライベート花火は、JR秋田支社と連携し、令和2年3月に打上予定であったが新型コロナウイルスの影響により延期となった。 	<ul style="list-style-type: none"> 一春の章-の観客数は33,000人で昨年よりも2,000人ほど増加した。 一秋の章-の観客数は延期開催が影響したため、19,000人と昨年の約半分であった。年々観客数は増加はしているが、より一層のPRが必要である。 プライベート花火は、募集から打上までの仕組みが完成した。 	全国花火競技大会開催経費 春の章開催経費 秋の章開催経費 冬の章開催経費 プライベート花火・ネット配信 入場者システム導入・運営	557,972,991 46,596,888 47,736,138 0 0 0

■当年度(令和2年度)事業計画

事業計画	予算額	
<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染拡大の影響により、大曲の花火-春の章-、全国花火競技大会が令和3年度へ延期となった。 四季の「大曲の花火」については、開催可否について適時に判断しながら、あわせて希望と元気を届ける「サプライズ花火」打上の取組を行い、インターネット上で配信していく。 	全国花火競技大会開催経費 春の章開催経費 秋の章開催経費 冬の章開催経費 プライベート花火・ネット配信 入場者システム導入・運営	0千円 0千円 47,000千円 19,000千円 0千円 0千円

事業NO.	“あなただけの花火”打上事業	事業主体 (◎:主担当)	◎市観光課、市まちづくり課、㈱花火創造企業、大曲商工会議所、大仙市商工会、一般社団法人大仙市観光物産協会
4-4		記載担当	大仙市経済産業部観光課
		模擬花火玉作り体験、プライベート花火等を内容とした通年型の観光商品を開発し、誘客と滞在時間の増加を図る。花火打上にはクラウドファンディング等の活用を検討する	

■アクションプラン（平成31年3月策定）

	令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
スケジュール	模擬玉作り体験について協議 プライベート花火について協議 2月提案書完成	32～33年度のツアー造成に向けて旅行会社へ配布	(随時)観光素材情報の更新、新たな観光素材の追加 商談会やファミツアー等で旅行会社へ配布、旅行商品造成を依頼		
	「火薬を使用した花火玉作り体験」 特区認定申請について検討		特区認定申請・事業実施		
	クラウドファンディングによる 花火打上について検討		事業実施		
予算	合計	合計	合計	合計	合計
財源					

■前年度(令和元年度)事業実績

事業実績	評価	決算額	
<ul style="list-style-type: none"> 大曲商工会議所・JR秋田支社・JTB秋田支店が共同でプライベート花火商品を造成した。 JR秋田支社と秋田県が連携した冬季誘客プレゼントキャンペーンで「プライベート花火体験ツアー」を景品として設定し、PRを実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> プライベート花火旅行商品は3月中下旬に催行日を設定していたため、新型コロナウイルスの影響もあり販売実績を得られなかった。 プライベート花火体験ツアーのプレゼントキャンペーン実施にあたってSNSを活用し、情報の拡散による認知度向上に一定の成果を得た。 	(支出なし)	0千円

■当年度(令和2年度)事業計画

事業計画	予算額	
<ul style="list-style-type: none"> 大曲商工会議所が事業主体となり、県の令和2年度補正「秋田県観光地創生支援事業」を活用し、「プライベート花火」と市内観光を組み合わせた新たな観光コンテンツの開発を行う。市内宿泊者等を対象に、「プライベート花火」打上のほか市内観光に招待する。 大仙市が事業主体となり、観光庁の令和2年度補正「誘客多角化等のための魅力的な滞在コンテンツ造成」実証事業を活用し、「思い出の修学旅行を大曲の花火で彩ろう！」プロジェクトと題し、花火をテーマとした修学旅行誘致の取り組みを実施する。(8月中旬に採択可否通知見込み) JR秋田支社とJTB秋田支店に協力を要請しながら、昨年同様の「プライベート花火」商品の造成を目指すとともに認知度向上のためのPRを行っていく。 	会議所・委託費ほか (県補助金)	19,997千円
	市・委託費ほか (観光庁実証事業支援金)	20,000千円
	市・委託費(地方創生推進交付金、市地域振興基金繰入金)	293千円

事業NO.	花火大会におけるイベント民泊の推進	事業主体 (◎:主担当)	◎市総合政策課、市観光課、大仙市商工会、 一般社団法人大仙市観光物産協会
4-5		記載担当	大仙市経済産業部観光課
「大曲の花火」等の大規模花火イベントにおいて民泊活用を拡大することで、宿泊施設の不足に対応し、観光客数と観光消費額の増加につなげる			

■アクションプラン（平成31年3月策定）

	令和元年度				2年度				3年度				4年度				5年度			
スケジュール	4~5月	6月	7月	8月	4~5月	6月	7月	8月	4~5月	6月	7月	8月	4~5月	6月	7月	8月	4~5月	6月	7月	8月
	自宅提供者の募集	現地確認	宿泊者の募集・マッチング	事業実施	自宅提供者の募集	現地確認	宿泊者の募集・マッチング	事業実施	自宅提供者の募集	現地確認	宿泊者の募集・マッチング	事業実施	自宅提供者の募集	現地確認	宿泊者の募集・マッチング	事業実施	自宅提供者の募集	現地確認	宿泊者の募集・マッチング	事業実施
	住民説明会の開催				住民説明会の開催				住民説明会の開催				住民説明会の開催							
	運営主体設立の検討																			
予算	日本観光振興協会負担金	120千円	日本観光振興協会負担金	120千円	日本観光振興協会負担金	120千円	日本観光振興協会負担金	120千円	日本観光振興協会負担金	120千円	日本観光振興協会負担金	120千円	日本観光振興協会負担金	120千円	日本観光振興協会負担金	120千円	日本観光振興協会負担金	120千円		
	団体イベント民泊保険料	8千円	団体イベント民泊保険料	12千円	団体イベント民泊保険料	14千円	団体イベント民泊保険料	16千円	団体イベント民泊保険料	18千円										
	合計	128千円	合計	132千円	合計	134千円	合計	136千円	合計	138千円										
財源	市一般財源	128千円	市一般財源	132千円	市一般財源	134千円	市一般財源	136千円	市一般財源	138千円										

■前年度（令和元年度）事業実績

事業実績	評価	決算額	
<ul style="list-style-type: none"> 自宅提供件数は11軒となった。（大曲9軒・神岡1軒・協和1軒）H30の自宅提供者10軒のうち7軒が再申し込み。 宿泊者は11件・52名（申込件数31件）となった。 	<ul style="list-style-type: none"> 自宅提供者が新規で4軒増加したが、目標の20軒には届かなかった。自宅提供者が大曲地域に多いことから、大曲以外での自宅提供につながる取組が必要となっている。 宿泊条件を満たせなかったため辞退となった応募者もいることから、令和2年度に改めて募集条件の見直しが必要である。 	日本観光振興協会負担金	120千円
		団体イベント民泊保険料	4千円
		（市一般財源）	

■当年度（令和2年度）事業計画

事業計画	予算額	
<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度において、自宅提供者受け入れ要件を緩和するとともに、JR大曲駅以外の駅周辺地域での周知強化により自宅提供者の増加を図る計画としていたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により第94回全国花火競技大会の開催が令和3年度に延期となったため、感染症対策を含め、令和3年度に向けた事業改善について検討していく。 	日本観光振興協会負担金	120千円
	（市一般財源）	

事業NO.	お土産商品ブランド「せんのぜん」展開事業	事業主体 (◎: 主担当)	◎市観光課、 大曲商工会議所、 大仙市商工会、 (一社)大仙市観光物産協会	地方創生 推進交付金 活用事業
4-6		記載担当	大仙市経済産業部観光課	

■アクションプラン（平成31年3月策定）

	令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
スケジュール	<div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">お土産商品ブランド開発委託 ・過年度商品の改善、新商品開発 ・販促ツールの作成</div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin: 5px;">1~3月頃 展示会出展</div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin: 5px;">1~3月頃 展示会出展</div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin: 5px;">1~3月頃 展示会出展</div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin: 5px;">1~3月頃 展示会出展</div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin: 5px;">1~3月頃 展示会出展</div> </div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-top: 10px;">(随時)販売促進活動</div>				
	予算	ブランド開発業務委託料 4,000千円 販売促進活動費 1,000千円 合計 5,000千円	ブランド開発業務委託料 4,000千円 販売促進活動費 1,000千円 合計 5,000千円	ブランド開発業務委託料 4,000千円 販売促進活動費 1,000千円 合計 5,000千円	ブランド開発業務委託料 4,000千円 販売促進活動費 1,000千円 合計 5,000千円
財源	地方創生交付金 2,500千円 市一般財源 2,500千円	地方創生交付金 2,500千円 市一般財源 2,500千円	地方創生交付金 2,500千円 市一般財源 2,500千円	地方創生交付金 2,500千円 市一般財源 2,500千円	地方創生交付金 2,500千円 市一般財源 2,500千円

■前年度（令和元年度）事業実績

事業実績	評価	決算額
<ul style="list-style-type: none"> ・ 新商品シリーズとして、おかゆシリーズ「せんのかゆ」の開発に着手。 ・ 全参加事業者を主体とするブランド協議会を設立した。 ・ 市内3ヶ所の道の駅での販売開始に道筋をつけた。 ・ 年間販売実績1,731,427円(前年度比▲804,071円)となった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ブランド立ち上げ時のラインナップによる令和元年度の販売実績は、販売初年度である平成30年度を下回る結果となった。 ・ 全事業者がアイデアを出しあった新商品開発やブランド協議会の設立、販路拡大への取組では、次年度に向け進展することができた。 	ブランド開発・販売促進業務委託料(地方創生推進交付金、市地域振興基金繰入金) 3,765千円

■当年度（令和2年度）事業計画

事業計画	予算額
<ul style="list-style-type: none"> ・ 前年度から継続となる新商品「せんのかゆ」シリーズの完成と販売に向け、協議会が主体となり取り組む。 ・ 引き続き取扱い店舗の拡大を図り、随時販売促進活動を行う。 ・ 市内ショッピングセンターやスーパーマーケットでの試食会を通し、地元での認知度向上を図る。 ・ 令和3年2~3月に開催される国内食品・飲料展示会へ出展する。 	ブランド開発業務委託料 販売促進活動費 (地方創生推進交付金、市地域振興基金繰入金) 4,000千円 1,000千円

事業NO.	「大曲の花・美(はな・び)」ダリア販売普及事業 花火を連想させる花卉として開発した「花火ダリア」の認知度とブランド力の向上を図り、関東圏や関西圏、地元での普及・販売に努める	事業主体 (◎:主担当)	◎市農業振興課	地方創生 推進交付金 活用事業
4-7		記載担当	大仙市農林部農業振興課	

■アクションプラン（平成31年3月策定）

	令和元年度		2年度		3年度		4年度		5年度	
スケジュール	※29年度で開発は完了 10月 大田市場での 宣伝活動・市場調査		10月 大田市場での 宣伝活動・市場調査		10月 大田市場での 宣伝活動・市場調査		10月 大田市場での 宣伝活動・市場調査		10月 大田市場での 宣伝活動・市場調査	
	<div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-right: 10px;">販売促進活動</div> <div style="flex-grow: 1; border-bottom: 2px solid gray; position: relative;"> ➔ </div> </div>									
予算	販売促進費	1,200千円	販売促進費	600千円	販売促進費	600千円	販売促進費	600千円	販売促進費	600千円
	コンテスト出品費	500千円								
	合計	1,700千円	合計	600千円	合計	600千円	合計	600千円	合計	600千円
財源	地方創生交付金	850千円	市一般財源	600千円	市一般財源	600千円	市一般財源	600千円	市一般財源	600千円
	市一般財源	850千円								

■前年度(令和元年度)事業実績

事業実績	評価	決算額	
<ul style="list-style-type: none"> リーフレットを作成し、大田花き市場卸業者等への販促活動を実施した。 優れた花の新品種を決めるコンテスト「ジャパンフラワーセレクション」に出品「橙炎」がベストフラワー(優秀賞)を受賞のほか3品種が入賞。 「はなびアム」別館にて、大型アレンジメント作品を展示した。 	<ul style="list-style-type: none"> 「ジャパンフラワーセレクション」において、「橙炎」ほか3品種が受賞したことにより、花卸・中卸業者等、業界への知名度向上につながった。これにより、市場における花き販売額の向上が期待できる。 	販売促進費 コンテスト出品費 (地方創生推進交付金、市地域振興基金繰入金)	539千円 210千円

■当年度(令和2年度)事業計画

事業計画	予算額	
<ul style="list-style-type: none"> 花火産業構想第I期の期間中に「花火ダリア」10品種の開発を完了しており、関東圏では大田花き市場、関西圏では姫路生花卸売市場へ出荷され評価を得ている。ジャパンフラワーセレクションでの受賞を励みに、宣伝活動・市場調査を継続し、一層の認知度とブランド力の向上を図り、普及と販売促進に努める。 	販売促進費 (市地域振興基金繰入金)	600千円

事業NO.	「花火のまちのまるごとスタンプラリー」開催事業	事業主体 (◎:主担当)	◎市観光課、大曲商工会議所、大仙市商工会、一般社団法人大仙市観光物産協会
4-8		記載担当	大仙市経済産業部観光課
		四季の「大曲の花火」を起点として市内各地域の花火イベントを周遊するスタンプラリーを開催し、花火ファンの獲得と通年での誘客を図る	

■アクションプラン（平成31年3月策定）

	令和元年度		2年度		3年度		4年度		5年度	
スケジュール	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;">「花火のまちのまるごとスタンプラリー」開催</div>  </div>									
予算	スタンプラリー開催運営費	1,000千円	スタンプラリー開催運営費	1,000千円	スタンプラリー開催運営費	1,000千円	スタンプラリー開催運営費	1,000千円	スタンプラリー開催運営費	1,000千円
	合計	1,000千円	合計	1,000千円	合計	1,000千円	合計	1,000千円	合計	1,000千円
財源	商工会自主財源	1,000千円	商工会自主財源	1,000千円	商工会自主財源	1,000千円	商工会自主財源	1,000千円	商工会自主財源	1,000千円

■前年度(令和元年度)事業実績

事業実績	評価	決算額	
<ul style="list-style-type: none"> 紙媒体のスタンプラリーに替えて、スマートフォンでのARアプリを活用したデジタルスタンプラリー事業を実施。令和元年9月から令和2年2月末まで、計20か所にチェックポイントを設置し、実施した。 参加者数412名、賞品応募者数66名の実績を得た。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業実施初年度において目標参加人数300名を上回る参加者を得たことにより、次年度以降の事業展開が期待できる。 登録情報により参加者の属性等の情報が収集できることから、データ蓄積と分析により観光戦略策定への活用が期待できる。 	ぐるっと大仙デジタル・スタンプラリー関連経費 (市一般財源)	2,683千円

■当年度(令和2年度)事業計画

事業計画	予算額	
<ul style="list-style-type: none"> 地点毎の継続的な参加者数データを収集するため、令和2年度においては、前年度と同じ計20か所にチェックポイントを設置する。 新型コロナウイルス感染拡大の状況を鑑み、令和2年10月から令和3年2月末までの事業期間とする。 目標参加人数を500人に設定し、国県等による国内旅行促進施策の実施時期にあわせてプロモーションを展開していく。 	ぐるっと大仙デジタル・スタンプラリー関連経費 (市一般財源)	3,340千円

事業NO.	地域の花火大会等応援事業	事業主体 (◎:主担当)	◎市観光課、大仙市商工会
4-9		記載担当	大仙市経済産業部観光課
		毎月開催される特色ある花火大会の運営を支援するほか、共同研究の成果発表の場とするなど付加価値を向上させ、交流人口の拡大を図る	

■アクションプラン（平成31年3月策定）

	令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度					
スケジュール	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">花火大会の運営費補助 市提供花火の打上委託</div> 									
予算	花火大会運営補助	4,000千円	花火大会運営補助	4,000千円	花火大会運営補助	4,000千円	花火大会運営補助	4,000千円	花火大会運営補助	4,000千円
	花火打上業務委託	5,000千円	花火打上業務委託	5,000千円	花火打上業務委託	5,000千円	花火打上業務委託	5,000千円	花火打上業務委託	5,000千円
	※大曲の花火（春・秋・冬の章）への補助金は事業NO.4-3で計上									
	合計	9,000千円	合計	9,000千円	合計	9,000千円	合計	9,000千円	合計	9,000千円
財源	市一般財源	9,000千円	市一般財源	9,000千円	市一般財源	9,000千円	市一般財源	9,000千円	市一般財源	9,000千円

■前年度(令和元年度)事業実績 ※大曲の花火 四季の花火については事業No.4-3に記載

事業実績	評価	決算額	
<ul style="list-style-type: none"> 協和七夕花火、神岡南外花火大会に花火大会運営補助金を交付した。 余目さくら花火観賞会、樽岡さなぶり酒花火、ふるさと西仙まつり、彩夏せんぼく、ドンパンまつり、刈和野の大綱引き、川を渡るぼんでん、太田の花まつり、全日本残月花火選手権に花火打上業務委託を実施 	<ul style="list-style-type: none"> 市内で開催される特色ある地域の花火大会等の開催を支援することにより、毎月花火が打ち上がる「花火のまち・大仙市」を広くPRすることにつながった(ドンパンまつりは、台風10号により中止となったため花火準備に要した経費を支出) 	花火大会運営補助 花火打上業務委託 (市花火産業構想推進事業債)	4,000千円 4,505千円

■当年度(令和2年度)事業計画 ※大曲の花火 四季の花火については事業No.4-3に記載

事業計画	予算額	
<ul style="list-style-type: none"> 市内で開催される特色ある地域の花火大会等の開催について花火大会運営補助または花火打上業務委託により支援する。 新型コロナウイルス感染拡大の影響により、一部の地域の花火大会等が中止となったことを受け、中止となった地域の花火大会等の主催者がサプライズ花火を計画した場合に、市が補助金を交付することにより、事業実施を支援する。 	花火大会運営補助 花火打上業務委託 (市一般財源・市花火産業構想推進事業債)	4,000千円 4,900千円

目標 1

花火文化に対する理解の深耕拡大と花火に関する人材育成環境の構築を目指す

関連 施策	K P I (重要業績評価指標)	現状値	実績値					目標値 (5年度)	評価・補足説明
			元年度	2年度	3年度	4年度	5年度		
施策 1	花火資料収集点数	約 15,100 点(累計)	16,069					23,500 点(累計)	R1は概ね例年通りの数の資料を収集することができた。R2は新型コロナウイルス感染拡大の影響により、各地の花火大会プログラム・ポスター収集数が減少する見込み。 R1はH30を上回る来館者数となったが、新型コロナウイルス感染拡大により、年度末において伸び悩みがあった。収束見通しが不明なことから、今後の利用者数減少が見込まれる。 各団体において、SNSと連携した情報発信を行ったことにより、R1の「大曲の花火」関連ホームページのアクセス数の合計がH30比較でほぼ2倍に増加した。 R1は歩行者数の測定4地点においていずれの地点においてもH30から減少となった。R2において「はなび・アム」隣地の有効活用事業等により、歩行者数の増加が期待される。
		(平成30年度末時点)							
	花火伝統文化継承資料館の年間利用者数	46,320 人/年	53,562					80,000 人/年	
		(平成30年度)							
「大曲の花火」関連ホームページアクセス数	24.5 万人/年	46.3					36.0 万人/年		
	(平成30年度)								
中心市街地の1日当たり歩行者通行量	3,662 人/日	3,234					4,300 人/日		
	(平成29年度)								
施策 2	市内花火会社の常用雇用者数	69 人	70				92 人	常用雇用者数は定年退職者の増加等により微増に留まった。人手不足に対応するため、市移住促進無料職業紹介所や首都圏の移住相談会での「花火のしごと」魅力発信を推進していく。 第2期移住・定住促進アクションプランにおいて、移住者の再定義が行われたため、数値目標が再設定された。本構想においても整合を図り、R5の目標値を上方修正する。 全国花火競技大会開催時における花火セミナーの開催場所が、R1は従来の2か所に「はなび・アム」を加えた3か所となったことなどにより、受講者数が増加した。	
		(平成29年度)							
	本市への1年あたり移住者数	47 人/年	66				70 649 人/年		
(平成29年度)									
花火関連講座受講者数	1,514 人/年	1,573				2,300 人/年			
	(平成29年度)								

目標 2

花火を起点とした地域経済活力の向上と交流人口の増加を目指す

関連 施策	K P I (重要業績評価指標)	現状値	実績値					目標値 (5年度)	評価・補足説明
			元年度	2年度	3年度	4年度	5年度		
施策 3	市内花火会社煙火出荷額	9.3 億円/年 (平成29年度)	10.0					12.7 億円/年	市内5社の出荷額はR1において増加したが、新型コロナウイルス感染拡大によるイベント自粛の影響でR2において減少が見込まれる。
	大仙市産花火用マツ炭 出荷額	0 百万円/年 (平成29年度)	0					8 百万円/年	粉砕機トラブルにより、出荷に向けた事業進捗は遅延したが、全国100社へマツ炭サンプルを提供し、品質について各社より好評を得ている。
	無線点火システム売上額	0 百万円/年 (平成29年度)	0					45 百万円/年	R1において試作機の4期の製作を完了したが、課題解決のため製品版の製作を見送っており、販売実績がない状況。
	花火イベント企画運営 サポート事業売上額	91.4 百万円/年 (平成29年度)	61.3					200 百万円/年	H29においては国際花火シンポジウム開催時の実績が多くを占めていたため、R1の実績値としては減少している状況。
施策 4	観光入込客数	276.6 万人/年 (平成29年度)	252.1					290 万人/年	R1において、8月の台風10号及び10月の台風19号、暖冬による小雪、新型コロナウイルスの影響等により、観光入込客数は大幅減となった。
	外国人宿泊者数	3,384 人/年 (平成29年度)	3,102					6,770 人/年	国際花火シンポジウム開催年のH29からは減少したが、H30の2,016人からは増加した。新型コロナウイルスの影響によりR2は減少見込み。
	民泊利用者数	42 人/年 (平成30年度)	52					180 人/年	事業要件見直しによりR1の利用者数は10人増加した。さらなる利用者数増加のため、制度周知とマッチング方法の確立等が求められている。
	大仙市観光物産協会のお土産売上額	27.0 百万円/年 (平成29年度)	36.7					32.5 百万円/年	JR大曲駅観光情報センター及び「楽天市場」「Yahoo!ショッピング」上の公式アンテナショップで、お土産品売上額が大幅に増加している。
	観光消費による 経済波及効果	183 億円/年 (平成29年度)	171					193 億円/年	観光入込客の属性及び消費単価等により需要を推計し、産業連関表により算出。観光入込客数が減少したことに伴い経済波及効果も減少した。